

平成27年 6月 19日

所属 教育委員会事務局文化財保存課

担当 記念物・埋蔵文化財係

電話 0742-27-9866

平成27年6月19日（金）に開催されました、国の文化審議会（会長 宮田 亮平）において、史跡名勝天然記念物等の指定の答申がおこなわれました。そのうち奈良県に関係するもの（5件、史跡 上牧久渡古墳群（新指定）、史跡 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳（追加指定）、史跡 菖蒲池古墳（追加指定）、史跡 大安寺旧境内附石橋瓦窯跡（追加指定）、史跡 熊野参詣道（追加指定及び名称変更））について、お知らせします。

史跡の新指定 1件

1. 名称 史跡 上牧久渡古墳群（かんまきくどこふんぐん）
2. 所在地 奈良県北葛城郡上牧町大字上牧
3. 面積 指定地 : 17,362.33 m²
4. 概要 奈良盆地北西部に位置する、7基からなる古墳時代前期及び終末期の古墳群。前期初頭の3号墳は、中国製の鏡や鉄製武器が出土しており、奈良盆地の中でも最古級の古墳である。大和政権成立期の諸集団の集団関係を考える上で重要。（7基からなる古墳群で、奈良盆地の中でも最古級の古墳を含むことで重要。）

史跡の追加指定 3件

1. 名称 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳（けんごしづかこふん・こしづかごもん）
2. 所在地 奈良県高市郡明日香村大字越
3. 面積 既指定地 : 11,556.80 m² 追加指定地 : 825.10 m²
4. 概要 牽牛子塚古墳は、対辺2.2mの墳丘裾部に切石が敷かれた7世紀後半の八角形墳。横口式石槨の周りを切石が取り囲む構造である。越塚御門古墳は牽牛子塚古墳に隣接した7世紀後半頃の古墳。両古墳は飛鳥時代の古墳の在り方を知る上で重要。牽牛子塚古墳にかかる地点で条件の整った部分を追加指定する。

1. 名称 菖蒲池古墳（しょうぶいけこふん）
2. 所在地 奈良県橿原市菖蒲町四丁目
3. 面積 既指定地 : 99.00 m² 追加指定地 : 2,576.00 m²
4. 概要 これまで2基の家形石棺を納めた横穴式石室として知られていたが、発掘調査により、一辺約3.0mの方墳であり、墳形と出土した須恵器から7世紀中葉に築造された終末期古墳であることが判明。これまで石室部分のみの指定であったため、今回、墳丘部分を追加指定する。

1. 名称 大安寺旧境内附石橋瓦窯跡（だいあんじきゅうけいだいつけたりいしばしかわらがまあと）
2. 所在地 京都府綴喜郡井手町大字井手小字清水
3. 面積 既指定地 : 270,047.97 m² 追加指定地 : 161.76 m²
4. 概要 奈良時代、平城京遷都に伴い造営された古代を代表する官立寺院跡。今回、大安寺所用

の瓦を生産した「^{たなくらかわらや}棚倉瓦屋」と考えられる石橋瓦窯跡について、地籍調査の成果に基づき範囲が確定した部分を追加指定する。

史跡の追加指定及び名称変更 1件

1. 名称 熊野参詣道（くまのさんけいみち）
2. 所在地 和歌山県海南市・有田市・田辺市・新宮市・有田郡広川町・西牟婁郡上富田町・西牟婁郡すさみ町・東牟婁郡那智勝浦町・東牟婁郡串本町
3. 面積 既指定地 : 89,292.92 m² 追加指定地 : 1,295,539.35 m²
4. 概要 平安時代より中世・近世を通じて利用された熊野三山への参詣のための道で、既指定の中辺路・大辺路に分岐するまでの道である紀伊路のほか、中辺路・大辺路の遺存状況の良好な道筋及び関連する神社、王寺跡等を追加指定し、名称を変更する。